

なかじょうえきにしくちしゅうへん

中条駅西口周辺地区

(新潟県胎内市)

計画期間 平成25年度～平成30年度

面積 470ha

交付対象事業費 2,781百万円

市人口 30,049人 (地区内人口 9,989人)

ポイント

多くの市民・学生・企業・経営者から多様な意見を聴取し市民の想いを実現化⇒地元民間事業者と連携した計画により民間活力を導入し事業用地確保と新たな商業施設整備を進め、住みやすさ・魅力向上、観光・企業誘致により、『たいない独自の魅力』向上させ『市民が自慢できる』まちを目指す。

地区概要

本地区は、JR・羽越本線中条駅を中心に市をめぐりさまざまな社会環境の変化に対応した持続可能なまち『自然が生きる、人が輝く、交流のまち』を目指し、中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により総合的に新しいまちづくりを進め、住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成を目指している。

目標

中条駅周辺地域の一体的整備と市域道路や公共施設の整備により住む人が安心・快適に暮らせるやさしいまちの形成

指標

核となる交通結節点の整備と周辺道路及び公共施設の整備により、地域の魅力を向上させ、民間企業との連携で実現する相乗効果を数値として表せる事柄を目標指標として設定した。

道路利用者の満足度	28% (H24)	→	満足率の向上 (H30)
駅利用者の減少抑制	1,213人/日 (H24)	→	減少率向上 (H30)
西口周辺土地利用	8.3% (H24)	→	比率の向上 (H30)
地区内居住人口	404世帯 (H24)	→	人口の増 (H30)
駅前広場の混雑度低下	10台 (H24)	→	0台 (H30)

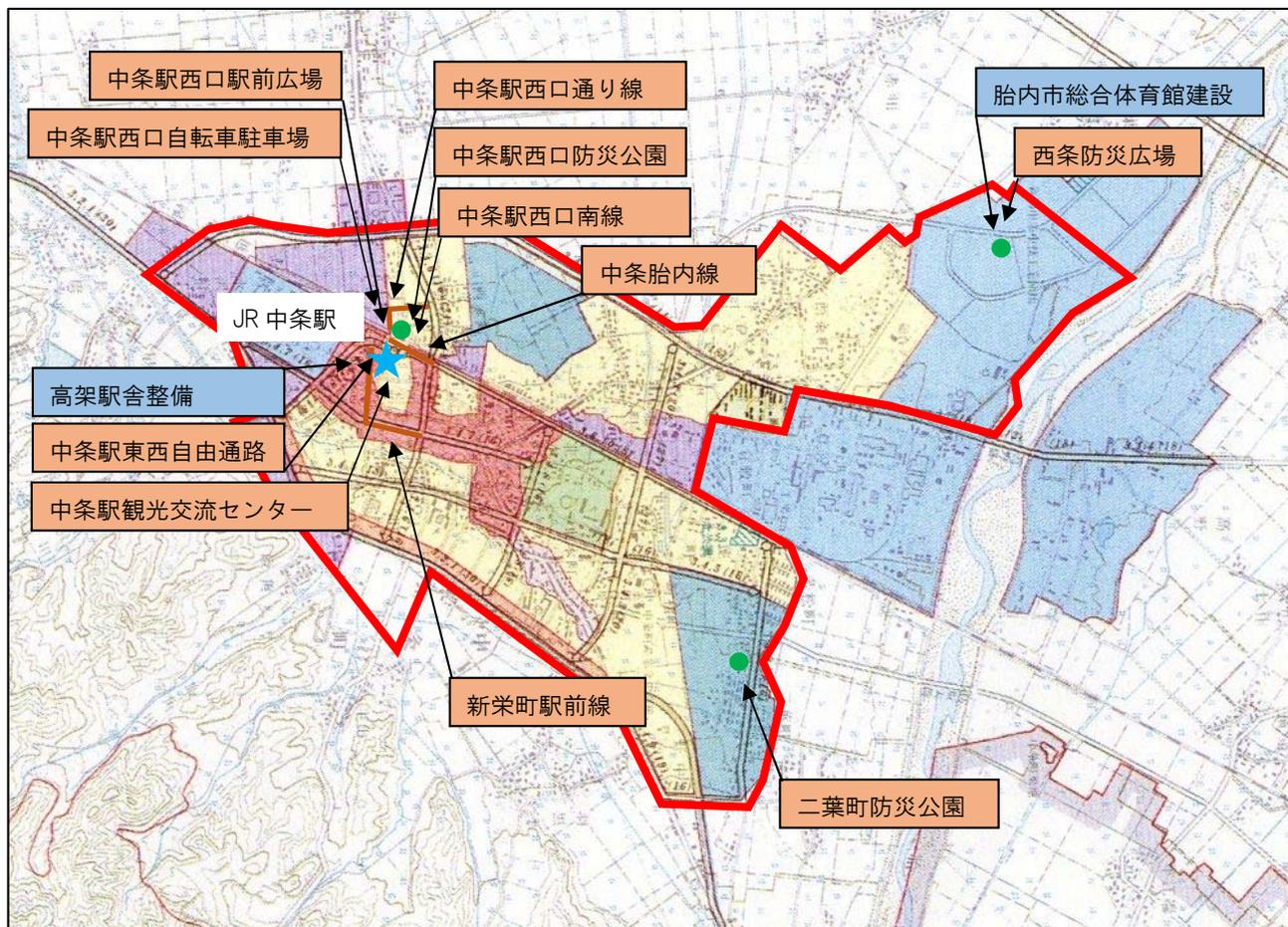
事業内容

基幹事業 (2,006百万円)

道路 (4路線 道路改良) 東西自由通路建設 駅前広場建設 公園整備

提案事業 (775百万円)

JR 駅舎高架化 総合体育館建設 事業効果分析調査



地区の現況と課題

中条駅周辺の現況

同地区は、胎内市の中心に位置付けられ用途指定が商業・工業・住居地域となっておりそれぞれの顔を持つ。表口の中条駅東口では、公共交通ネットワーク機能強化を図るため、環境変化に対応した全ての人に利便性の高い交通結節点となる駅前広場の整備を行い交通・環境・防災広場を確保し前面街路と併せ周辺に駐輪場・P&R 駐車場が整備され新しいまちの顔として機能しています。

中条駅周辺地区の課題

駅乗降口のない中条駅西側では低未利用地が存在し、市街地縁辺部や国道7号沿いでは、基盤整備が不十分で農地や商業地、住宅地が混在している。都計道は、約74.8%が改良済みとなっているが市街地内では未整備の箇所が多く、優先順位を決め整備を進める必要がある中、JR羽越本線の線路を横断する道路のほとんどが平面交差であるため、渋滞が発生し東西の移動環境を容易にする整備が急務の課題となっている。



▲整備前の中条駅周辺の状況

提案事業の特徴

JR 中条駅高架化事業

JR 中条駅舎を高架化することで鉄道を挟んだ東西の移動環境を整え、高齢者やさまざまな活動・交流を支援するため、交通結節点や周辺施設において駅利用者並びに歩行者に対し快適な移動空間を形成します。また、環境に優しい乗り物として自転車の交通空間を整備し自家用車からの転換を図り低炭素社会を目指す。

胎内市総合体育館建設事業

災害に対応した市民生活に密着する公共施設整備により安心安全で快適なまちづくりの実現をめざす。

計画策定プロセス

市民アンケート

事前により多くの市民の意見や意向を調査し、多様なニーズに対応した交通結節点整備構想及び都市マスタープランと整合のとれた駅周辺まちづくりの将来像を設定するため、中条駅の現状に対する満足度や利用頻度、将来に向けた駅周辺整備への考え等を把握することを目的に、市民へ調査票を全戸配付及び駅現場聞き取りにてアンケート調査を実施。

駅周辺まちづくり懇話会・基本構想策定検討委員会等

中条駅の現状に対する満足度や利用頻度、将来に向けた駅周辺整備の考え等を把握することを目的に駅周辺住民及び学生等を交えてワークショップ等を開催し意見を集約。市民を中心とした基本構想策定検討委員会、まちづくり懇話会を設置し要望や意見を聞き取り、市長への政策答申機関『駅周辺まちづくり審議会』において、意見集約し駅周辺まちづくり基本計画を策定。

井畑市長のコメント

まちづくりのプロセスが評価され賞をいただけることは市民にとって明るい希望になる。これを機に行政と市民が一緒になって、さらなる交流を図ることに取り組んでこそ、意義のある受賞になる。これからも市民協同によるまちづくりを一層深めて参りたい。

基本構想検討委員会須貝委員長のコメント

この計画は、多くの市民や企業などが参画し数えきれない人々の想いが結集しています。完成の年にこのような形で評価いただけた事は大変嬉しく思います。実現にご協力をいただいた全ての市民を代表してお礼申し上げ、今後もコンパクトなまちづくりが進んでいきますことを切に願っております。

協力企業 浮須氏のコメント

胎内市が行うまちづくり事業に微力ながら協力させていただき新しいまちの誕生に貢献が出来たことは、大変光栄に思っております。平成30年7月の駅開業後は、同地区の交流人口も増え賑わいが生まれるものと思っており、今後も更なるまちの発展にお力添えが出来ればと思っております。



▲現在の中条駅と駅前広場



▲新駅舎イメージ



▲自由通路市民交流空間



▲基本構想策定検討委員会



▼キャラクター作成

▼子どもと一緒にデザインワーク



▲小学生400人で自由通路内壁の装飾画を制作